

神の使い(眷属)

神社名	眷属	由来
伊勢神宮	ニワトリ	天の岩戸事件の際の常世の長鳴き鳥。
稻荷神社	キツネ	御饌津神社から御狐へ。また白狐の精であるダキ二天。
石清水八幡宮	ハト	宇佐八幡からの分霊に際して、船のマストに金鳩が出現。
春日大社	シカ	タケミカツチ(武甕槌命)が鹿島神宮から神鹿に乗って遷座。
北野天満宮	ウシ	菅原道真の牛車の牛と農耕用の牛が結びついて。
熊野大社	カラス	神武天皇東征に際し、険路で3本足の大鳥(八咫鳥)が先導。
調神社	ウサギ	通称「つきのみや」にちなむ。
日吉大社	サル	比叡山に棲む猿に由来。大山咋神の妻の化身(雌猿)とも。
松尾大社	カメ	近くにある亀尾山にちなむ。
三島大社	ウナギ	名物・名産。
三峯神社	オオカミ	山神信仰を基礎に修験者が創案した神犬信仰。

日本に「〇〇神宮」と呼ばれる神社はたくさんあります。けれど、「神宮」とだけ呼ばれたときには、日本の神社の頂点「伊勢神宮」を指します。ところで、伊勢神宮を参拝すると境内にニワトリが放されています。これは、天照神(アマテラス)が天の岩戸にとじこもったときに、常世の長鳴鳥(常世の国からきたニワトリ)を集めて鳴かせたことに始まります。



ニワトリは鳴き声で夜明けを知らせ、鳴くことで天照神の出現を知らせる「伊勢神宮」の眷属です。この他に、さまざまな神社で眷属がいます。(参考文献)

神社と神の使い(眷属)

阿弥陀如来の功德によってすでに往生しているのだから、ご先祖に感謝することによって、阿弥陀如来への報恩感謝をしています。お彼岸の意味にちなんでご先祖に感謝をし、浄土をしのびたいものです。



浄土真宗では全てのご先祖は、

親が出来ないことを「おじいちゃん、おばあちゃん」が補い、昔話や子守唄などの情操教育をきちんと子どもにできていました。しかし昨今、核家族化が進み、「おじいちゃん、おばあちゃん」と住まなくなり、若い夫婦はともに仕事に追われ、幼少期の大事な

お彼岸です。お仏壇とお墓に手をあわせましょう。

「彼岸」とは、極楽浄土のことです。こちら側の岸「此岸」(私たちが生きている世界)に対して向こう側の岸を意味します。彼岸には太陽が真東から昇り、真西に沈むので、日没の彼方にある極楽浄土を想い、彼岸に行ってしまう先祖をご供養し、同時に自分も彼岸にいけるよう祈るようになりました。

二つ子の魂百まで 昔は家族そろってお仏壇・お墓にお参りしていたのではないのでしょうか？

よそ様から頂き物があれば先ず仏様にお供えしました。収穫した初物があれば、やはり神様・仏様にお供えしました。家・家族の中心に神様・仏様がおられました。

時期に情操教育ができなくなってきました。日本には昔から「二つ子の魂百まで」という諺があります。世界で最初に幼稚園を始めたフレールベルは「人間は五歳までにその人生に必要な全てを学ぶ」と言われました。子どもや孫と一緒に神仏に手を合わせ「いつも神様・仏様が見ていますよ。」と教えることによって、可愛い我が子や孫たちが心やさしい子に育つよう、私たちが自ら神仏を敬う気持ちと感謝の気持ちを忘れず生かさせて頂きたいと思えます。



田中家通信

全優石 全国優良石材店



株式会社 田中家石材

VOL. 20

発行/株式会社 田中家石材
住所/彦根市高宮町108-1
電話/0749(23)58888
HP: http://www.tanakaya-sekizai.com/
Mail: info@tanakaya-sekizai.com

埋葬許可書

お墓を建てた時に、遺骨を埋葬しますが、勝手に行ってはいけなさと法律で定められています。そこで必要なのが「埋葬許可書」です。「埋葬許可書」の発行手順は先ず、人が死亡した時に市町村長に対して、死亡診断書を添えて死亡届を提出します。そこで「埋葬許可書」が交付されます。この「埋葬許可書」は「火葬証明書」とセットになっているので、葬儀が済んだ後、火葬場で茶毘にふす際、この二つの証明書を提出し、火葬が済んだ事を記入してもらいます。そして、お墓に埋葬するわけですが、「埋葬許可書」をお寺の墓地の場合は住職さんに、霊園なら事務所の責任者に仕様許可書と印鑑をもって提出します。葬儀の際はいろいろとバタバタします。その際、このような書類が何処へ行ったか解らなくなることも多いようです。そのような事のないように、「埋葬許可書」は骨壺と一緒に骨箱に入れておくようにしたいものです。

天皇家の神社と家紋

天皇家の家紋は、よく知られている菊の御紋ですが、正式名は「十六葉菊花紋」といいます。しかし、この紋様が皇室専用となったのは、明治維新後でわりと最近のことです。

使われ始めたのは、鎌倉時代に後鳥羽上皇がこの紋様を気に入り、輿や馬、刀剣に彫ったのがこの起こりと云われています。この規制も最初は一般の使用を禁じる程度でしたが、明治四年に、十六葉菊に似た紋様の使用も完全に禁止され、天皇家以外の皇族は「十四葉一重裏菊」の紋様にするものと定められ、「十六葉菊花紋」は完全に天皇家だけのものとなりました。ちなみに、パスポートの十六葉菊や議員バッジの十六葉菊は天皇家の紋様と似てはいますが、基本的には別のデザインです。

主な神紋



十六葉菊花紋 皇室の御しるし

主な神社: 明治神宮(東京) 靖国神社(東京) 舟津神社(福井) 穂高神社(長野) 高倉神社(三重) 白峯神社(京都) 浮嶋神社(愛媛) 白峰宮(香川)



三巴 日本で最も多い神紋

主な神社: 宇佐神宮(大分) 鶴岡八幡宮(神奈川) 石清水八幡宮(京都) 出羽三山神社(山形) 生国魂神社(大阪) 鹿島神宮(茨城) 香椎宮(福岡) 氣比神宮(福井)



梅鉢 菅原道真公ゆかりの好木

主な神社: 太宰府天満宮(福岡) 防府天満宮(山口) 湯島天神社(東京) 北野天満宮(京都) 尾山神社(石川) 菅原神社(新潟)



三葉葵 徳川家ゆかりの神社

主な神社: 日光東照宮(栃木) 東照宮(群馬) 上野東照宮(東京) 春日神社(福井) 伊賀八幡宮(愛知) 多田神社(兵庫)



万字(卍) 神仏習合の象徴

主な神社: 根津神社(東京) 松陰神社(山口) 温泉神社(栃木) 東雷神社(千葉) 愛宕神社(千葉) 須間神社(茨城) 鬼神社(青森)



輪宝 仏法宣布のシンボル

主な神社: 古四王神社(秋田) 国神社(福井) 神部神社(静岡) 六所神社(愛知) 大隅神社(岡山) 霧島東神社(宮崎)